

# 市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科	理科
----	----

学年	2年
----	----

## 1. 学習の目標

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

## 2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1学期	<p>単元1 化学変化と原子・分子</p> <p>1章 物質のなり立ち</p> <p>2章 物質どうしの化学変化</p> <p>3章 酸素がかわる化学変化</p> <p>4章 化学変化と物質の質量</p> <p>5章 化学変化とその利用</p> <p>単元2 生物のからだのつくりとはたらき</p> <p>1章 生物と細胞</p>	<p>単元1 化学変化と原子・分子</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら理解する。</li><li>・見通しをもって観察・実験を行い、化学変化における物質の変化や量的な関係を見いだして表現する。</li><li>・化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li></ul>
2学期	<p>2章 植物のからだのつくりとはたらき</p> <p>3章 動物のからだのつくりとはたらき</p> <p>4章 刺激と反応</p> <p>単元3 天気とその変化</p> <p>1章 気象の観測</p> <p>2章 雲のでき方と前線</p> <p>3章 大気の動きと日本の天気</p>	<p>単元2 生物のからだのつくりとはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物や動物の体のつくりと働きのことを理解する。</li><li>・見通しをもって観察・実験を行い、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する。</li><li>・生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li></ul> <p>単元3 天気とその変化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解する。</li><li>・見通しをもって観察・実験を行い、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する。</li><li>・気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li></ul>
3学期	<p>単元4 電気の世界</p> <p>1章 静電気と電流</p> <p>2章 電流の性質</p> <p>3章 電流と磁界</p>	<p>単元4 電気の世界</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流と磁界を理解する。</li><li>・見通しをもって観察・実験を行い、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する。</li><li>・電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li></ul>

### 3. 評価

#### (1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	・学習内容をどれだけ理解できているか。 ・観察・実験などに関する技能を身に付けているか。	定期試験 小試験 など
②思考・判断・表現	・見通しをもって実験・観察を行っているか。 ・実験・観察から得られた結果を分析して解釈し、表現できているか。	定期試験 ノートやプリントの記述内容 など
③主体的に学習に取り組む態度	・ワーク等の副教材などを工夫して学習に有効活用できているか。 ・授業に意欲的に取り組み、実験にも進んで取り組んでいるか。	提出物の取り組み 授業中の取り組み ノートの記述内容 など

#### (2) 観点と評価の関係

			評定
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	
B	C	C	2
C	C	C	1

#### <評価の注意事項>

定期試験は、大切です。しかし、定期テストだけで評価を決めるわけではありません。普段の授業内の取り組みなども評価対象です。粘り強く取り組む姿勢とそのプロセスを経て到達した自己の変容の記録が評価されます。基本的に授業で取り扱うもの全てが評価の参考資料となることを念頭に置き、普段の授業を大切にしましょう。

### 4. 教科に関するアドバイス

理科は観察・実験での取り組みが非常に大切です。自然現象に対する「なんて?」「どうして?」という疑問が理科を学ぶエネルギーに変わります。身近な現象への気付きから課題を設定し、仮説を立てて見通しをもって観察・実験に取り組みましょう。得られた結果から自分なりの結論を見出すことが思考力の向上につながるので、自分の言葉で表現することを心がけましょう。

理科は生活そのものです。掃除や洗濯、料理は化学反応でもあります。理科を学ぶことで生活が豊かになります。また、自然のことや自分の体のことを学ぶことで自分の身を守ることにもつながります。自分の興味や生活と結びつけながら学んでいきましょう。